

実用化 事例

黒大豆納豆のパッケージデザイン

【相手先企業】

有限会社 菊水食品

【開発の背景】

菊水食品は、これまで独自の醗酵技術をもって数々の商品開発、製造、販売を手がけてきました。新たな商品開発として、H21年から茨城県産「黒大豆小粒」による納豆の試作を重ね、H22年の発売を目指しました。

黒大豆納豆を発売するにあたり、通常の納豆商品が激しく競合する市場での商品の差異化、訴求力を強化したネーミング、パッケージデザインの創作のため、H21年度デザイン開発支援事業に応募され、採択されました。



【開発の経緯・支援内容】

当センターでは、専門デザイナー倉田氏（(有)プラネッツ）の協力を得ながら、特に下記の点にポイントをおいて、商品コンセプト、ネーミング、パッケージデザイン案を進めました。

- 1) 茨城県日立で収穫された地元産の「黒大豆小粒」を使用した「日立」の納豆
- 2) 手作り・こだわり納豆
- 3) 顧客ターゲットは、品質や機能性に対する意識が強く、高めの価格でも商品进行评估する20～40歳代の健康志向のある女性
- 4) 「黒」のもつイメージと、瞬間的に視覚に飛び込み商品イメージがわきやすいネーミング
- 5) 納豆らしい高級感と継続性を考慮したデザイン
- 6) 通常商品より割高のため全国の百貨店やスーパーマーケット、贈答用品、インターネットによる販売

【開発した製品の紹介】

H22年6月より販売が開始されました。

- ・価格：630円(税込み) 80g入り
- ・商品取扱店：水戸京成百貨店、十王物産センター鶴喜鶴喜、ネット販売
- ・記事掲載：H22.9/15(茨城新聞)

【デザイン開発支援事業の紹介】

本事業は、県内の中小企業が、市場の動向や消費者ニーズを的確に捉えた商品開発が可能となるよう、企画・デザイン・試作・評価までの技術的な支援を行うものです。毎年4～5月に応募企業募集し、書類審査及びヒアリング審査を実施、採択された企業に専門のデザイナーがマンツーマンでデザイン指導を行ないます。

基礎となった事業

平成21年度 デザイン開発支援事業

現在の担当部門

産業連携室

室長

大力 賢次

tel : 029-264-2205

嘱託

大栗 淳子